様式－４

調　査　票

「橋梁伸縮装置止水部の補修に関する技術」

技術名称　：

（副題）　：

提出日　　：　令和　年　月　日

所属　　　：

氏名　　　：

# 技術選定要件を満足することが確認できる情報

本項要件A-1～D-2は、「別紙-2　1.(1) 対象とする技術および技術選定要件」に示す要件A～Dの各項を満足することを確認するために求める具体的な情報であり、全ての項目への回答が必須である。

| 項目 | | | | 内容 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術選定要件に関する情報 | 要件A  （補修要件） | 適用可能橋梁種別 | A-1 | A-1　適用可能橋梁種別  鋼橋  RC橋  PC橋  不問  その他  （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 適用対象とする伸縮装置のタイプ | A-2 | A-2-1　適用可能な伸縮部の区分  車道部（A-2-2のタイプ番号：　）  歩道部（A-2-2のタイプ番号：　） |
| A-2-2　適用可能な伸縮装置のタイプ  ①荷重支持型　鋼製　鋼フィンガー形式  ②荷重支持型　鋼製　簡易鋼製形式  ③荷重支持型　鋼製　モジュラー形式  ④荷重支持型　ゴム製　ゴム+鋼製形式  ⑤荷重支持型　ゴム製　ゴム製伸縮装置  ⑥突合せ型　　鋼製  ⑦突合せ型　　ゴム製  ⑧埋設型　　　特殊合材製  ⑨その他の形式  　（　　　　　　　　　　　　　　　）  ⑩特定の製品類（製品名／型番等）  　（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 技術を構成する部品の範囲 | A-3 | A-3　技術を構成する部品  （図示） |
| 止水のメカニズム | A-4 | A-4　止水のメカニズム  既設の一次止水部（充填材等）の補修  　補修材料（　　　　　　　　　　　　）  　止水のメカニズム  （　　　　　　　　　　　　　　　　）  既設の二次止水部（排水樋等）の補修  　補修材料（　　　　　　　　　　　　）  　止水のメカニズム  （　　　　　　　　　　　　　　　　）  その他 （　　　　　　　　　　　　）  　補修材料（　　　　　　　　　　　　）  　止水のメカニズム  （　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 施工（交換）要領 | A-5 | A-5　施工（交換）要領を図や文章にて簡潔に記載 A-2-2でチェックした①～⑩のタイプ別に記載 |
| 要件B  （製品要件1） | 適用可能気温 | B-1 | B-1-1　適用可能な外気温（環境温度）  適用可能な外気温の範囲  （－　　℃～＋　　℃）  北海道の地域区分による識別（下表参照）  -25℃以下とならない地域  -25℃～-35℃地域  -35℃～-45℃地域  表7.2.1 温度変化(℃)※   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 地域 | 鋼橋 | コンクリート橋 | | -25℃以下とならない | -20～+40 | -15～+35 | | -25℃～-35℃ | -30～+40 | -25～+35 | | -35℃～-45℃ | -40～+40 | -35～+35 |   ※北海道開発局 道路設計要領 第3集 橋梁 7.2 伸縮装置より転記 |
| B-1-2　適用可能気温の根拠データ  資料あり  資料なし（非選定） |
| 伸縮装置本体の製品要件 | B-2 | B-2　特定の伸縮装置のみ対応した止水部補修技術の場合、伸縮装置本体もB-1-1に示す地域に適用可能なことを示す具体的な情報を記述する  （　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 要件C  （製品要件2） | 施工実績 | C-1 | C-1-1　施工実績の有無  施工実績あり  　　施工実績概数（　　件）  資料あり  資料なし  実績なし |
| C-1-2　実橋での試行実績や実物大模型等の実績の有無  試行または試験実績あり  資料あり  資料なし  実績なし |
| ※C-1-1またはC-1-2のいずれかの施工実績と施工実績資料が無い場合は非選定 |
| 施工要領書 | C-2 | C-2　施工要領書の有無  資料あり  資料なし（非選定） |
| 要件D  （付帯要件） | 道路走行性への影響評価 | D-1 | D-1-1　補修した止水部が隆起や脱落しないこと  補修した止水部が隆起や脱落しないことを確認あるいは分析している。  　具体的な確認や分析内容（　　　　　　　　　　　　　　　　）  資料あり  資料なし  補修した止水部が隆起や脱落しないことを検討していない（非選定）。 |
| D-1-2　路面としての性能  路面上に施工する。  路面としての滑り抵抗性能を有すことを確認あるいは分析している。  　（※確認や分析内容を具体的に記載）  滑り抵抗（資料あり／なし）  耐摩耗　（資料あり／なし）  付着力　（資料あり／なし）  その他（　　　　　　　　　　　）  路面としての滑り抵抗性能を有すことを検討していない（非選定）。  路面上に施工しない。 |
| 伸縮装置機能への影響評価 | D-2 | D-2　伸縮装置機能への影響評価  伸縮装置本体の伸縮追従性を阻害していないことを確認あるいは分析している。  　具体的な確認や分析内容（　　　　　　　　　　　　　　　　）  資料あり  資料なし  伸縮装置本体の伸縮追従性を阻害していないことを検討していない（非選定）。 |

# 対象技術を活用する上で有用となる情報

本項E-1～L-1は、「別紙-2　1.(1) 対象とする技術および技術選定要件」に示した要件A～Dのほかに、新技術を活用する上で有用な参考情報を求めるものであり、応募者において確認できている情報のみを回答するものとする（全ての項目への回答は必須ではない）。

| 項目 | | | | | | 内容 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 各種性能に関する情報 | 性能保証条件 | 適用可能な標準遊間量 | | E-1 | | E-1　適用可能な伸縮装置の遊間量  適用可能な標準温度時の遊間量（標準遊間）  （　　mm） |
| 適用可能な伸縮量 | | E-2 | | E-2　適用可能な伸縮量  標準遊間からの伸縮量  （－　　mm～＋　　mm） |
| 積雪条件 | | E-3 | | E-3　積雪による制約の有無  積雪による制約がある。  （※具体的な制約条件を簡潔に記載）  積雪による制約はない。 |
| 塩害環境条件 | | E-4 | | E-4　塩害環境による制約の有無  塩害環境による制約がある。  （※具体的な制約条件を簡潔に記載）  塩害環境による制約はない。 |
| その他の制約条件 | | E-5 | | E-5　その他の制約条件  特筆すべき制約条件がある。  （※具体的な制約条件を簡潔に記載）  特筆すべき制約条件はない。 |
| 経済性情報 | 参考価格 | | F-1 | | F-1　参考価格（税抜き）  製品価格（　　　千円/10m当り）  施工価格（　　　千円/10m当り）  条件（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 標準納期 | | F-2 | | F-2　標準納期  材料手配期間（　　　日）  製作期間　　（　　　日） |
| 生産形態 | | F-3 | | F-3　生産形態  受注生産  既製品 |
| 止水性能情報 | 遊間伸縮時の止水性 | | G-1 | | G-1-1　伸縮時の限界性能（最大遊間）  設計上の最大遊間を超える限界性能を確認している。  （※性能の確認結果を簡潔に記載）  資料あり  資料なし  設計上の最大遊間を超える限界性能を確認していない。 |
| G-1-2　伸縮時の限界性能（最小遊間）  設計上の最小遊間未満の限界性能を確認している。  （※性能の確認結果を簡潔に記載）  資料あり  資料なし  設計上の最小遊間未満の限界性能を確認していない。 |
| 段差発生時の止水性 | | G-2 | | G-2　段差発生時の止水性  遊間部に段差が発生した際の止水性を確認している。  （※性能の確認結果を簡潔に記載）  上下方向の段差に関する許容量  　　　　（　　　mm）  資料あり  資料なし  遊間部に段差が発生した際の止水性を確認していない。 |
| 施工境界部の止水性 | | G-3 | | G-3-1　片側交互通行等による分割施工部からの漏水を防止する構造的配慮の有無  構造的配慮がある（または不要である）。  （※構造的配慮を簡潔に記載）  資料あり  資料なし  構造的配慮はない。 |
| G-3-2　歩車境界部等の構造形式が異なる施工境界部からの漏水を防止する構造的配慮の有無  構造的配慮がある（または不要である）。  （※構造的配慮を簡潔に記載）  資料あり  資料なし  構造的配慮はない。 |
| 耐久性能情報 | 耐疲労性 | | H-1 | | H-1-1　耐久性に係る試験の実施有無  既存の試験方法に準拠して実施している。  　試験方法（　　　　　　　　　　　　　　）  独自の試験方法で実施している。  耐久性に係る試験を実施していない。 |
| H-1-2　連続試験（日較差による伸縮）  連続試験を実施している。  　　供試体温度（　　℃）  　　伸縮量（±　　mm；Δt=　　℃相当）  　　繰り返し数（　　回；　　年相当）  資料あり／ なし  漏水あり／ なし  連続試験を実施していない。 |
| H-1-3　圧縮試験（年較差（高温時）による伸縮）  圧縮試験を実施している。  　　供試体温度（　　℃）  　　伸縮量（　　mm；＋　　℃相当）  　　繰り返し数（　　回；　　年相当）  資料あり／ なし  漏水あり／ なし  圧縮試験を実施していない。 |
| H-1-4　引張試験（年較差（低温時）による伸縮）  引張試験を実施している。  　　供試体温度（　　℃）  　　伸縮量（　　mm；－　　℃相当）  　　繰り返し数（　　回；　　年相当）  資料あり／ なし  漏水あり／ なし  引張試験を実施していない。 |
| H-1-5　水張り試験している。  水張り試験を実施  　　供試体温度（　　℃）  　　浸漬時間（　　時間）  資料あり／ なし  漏水あり／ なし  水張り試験を実施していない。 |
| H-1-6　独自の試験  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 耐腐食疲労性 | | H-2 | | H-2　耐腐食疲労性  滞塩水下もしくは滞水下における伸縮繰り返しに伴う止水性能を確認している。  （※性能の確認結果を簡潔に記載）  資料あり  資料なし  滞塩水下もしくは滞水下における伸縮繰り返しに伴う止水性能を確認していない。 |
| 耐凍結融解性 | | H-3 | | H-3　耐凍結融解性  凍結融解の繰り返しに伴う止水性能を確認している。  （※性能の確認結果を簡潔に記載）  資料あり  資料なし  凍結融解の繰り返しに伴う止水性能を確認していない。 |
| 性能保証期間 | | H-4 | | H-4　性能保証期間  性能保証期間を定めている  　止水性能を保証する期間（　　年）  　性能を保証できる前提条件（　　　　　　）  性能保証期間としては定めていない。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 耐荷性能情報 | | 堆雪耐荷性 | | I-1 | I-1　堆雪耐荷性  雪圧に対する抵抗性を有する。  （性能の確認結果を簡潔に記載。なお、機構的に輪荷重を受けない場合はその説明を記述）  資料あり  資料なし  雪圧に対する抵抗性を有しない。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 施工性情報 | | 施工（交換）期間 | | J-1 | J-1　施工（交換）期間  標準的な施工期間（　　日/10m当り）  前提条件等（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 施工環境制限 | | J-2 | J-2　施工環境制限  施工可能な外気温（-　　℃～+　　℃）  雨天時の施工（可／不可）  降雪時の施工（可／不可）  その他条件（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 標準温度と異なる温度下での施工方法 | | J-3 | J-3-1　標準温度と異なる温度下での施工方法  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| J-3-2　標準温度と異なる温度下での施工による適用可能な伸縮量（E-2）への影響  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 要求技能 | | J-4 | J-4　施工者に求める技能（資格）の有無  施工者に求める技能（資格）がある  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 維持管理情報 | | 点検方法 | | K-1 | K-1-1　日常の点検方法  点検方法（目視／その他（　　　　　　））  点検項目（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| K-1-2　定期点検方法と頻度  点検方法（目視／その他（　　　　　　））  点検頻度（5年に1回／その他（　　　））  点検項目（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| K-1-3　地震時等異常発生後の点検方法  点検方法（目視／その他（　　　　　　））  点検項目（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 診断方法 | | K-2 | K-2-1　劣化に伴う補修の必要性診断方法  遠望目視／近接目視／その他（　　　） |
| K-2-2　劣化に伴う補修の必要性診断指標  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 定期的維持行為 | | K-3 | K-3　定期維持行為  定期的に交換が必要な部品がある  部品名（　　　　　　　　　　　　）  交換サイクル（　　　　　　　　　）  定期的に交換が必要な部品はない |
| 補修方法 | | K-4 | K-4　補修方法  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他性能情報 | | | | L-1 | ・その他、確認している性能情報があれば記述。 |

以上